

4月度座談会

四菩薩造立抄

* * 地区

背景と大意

- 弘安2年 在・身延 58歳御作
- 対告衆：富木常忍（下総の門下）
- 地涌の上首・四菩薩の造立の時は
- 上行菩薩が出現して造立する
- 大聖人こそ上行菩薩の再誕
- 己義を捨てて師弟不二の実践を

日蓮が弟子

大聖人の**弟子**
として修行



我らは誰の
弟子なのか

悪しき師を持てば**不幸**に
良き師匠を持てば**幸福**に

人生・信心の根本は**師弟**

日蓮が如くに

一人では壁を破れない
慢心・惰性に陥る

師が
必要

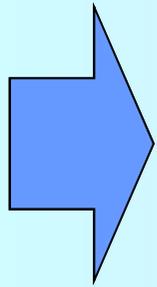
己義・我見
を捨てよ

師弟不二で
慢心・惰性を破れ

師を求め、師と共に進む
師弟不二の人生は大境涯へ

御守り候べし

諸天善神の**守護**が必ずある



自身の偉大な**生命力**で
周圀の全てが**勝利**へと

勝利の力を開くのは**師弟不二**
創価の**原点**は**三代の師弟**

指導から

- 師弟不二であれば、打ち破れない壁などない。今の**何倍も発展**できる。
- **崇高なる師弟**に学会の**世界的発展の原点**がある。
- 学会は、**大聖人直結、御書根本の信心**

創立100周年を目指し
師弟不二で壁を打ち破れ